

令和2年度シラバス・年間学習計画

教科	美術	科目	美術Ⅱ	学科・学年・類型	普通科2年理系	単位数	1
----	----	----	-----	----------	---------	-----	---

学期	月	学習単元・項目		学習のポイント	備考・使用教材
		教科書：高校生の美術 2		留意事項 評価規準	
1	4	・オリエンテーション 高校美術Ⅱの内容・心構え	1 学期	・高校美術Ⅱの内容・心構えについて資料を提示しながら、具体的に説明する。	・参考資料 ・アンケート ・教科書 ・板書 ・画用紙 ・鉛筆 ・墨 ・トレース紙 ・スケッチブック ・色紙 ・参考作品 ・生徒作品
	5	・水墨画「俳画」 鉛筆デッサンと言葉を用いて、モチーフを題材にした作品を制作する。		・モチーフをデッサンすることで、観察力や集中力を身につける。	
	6	・鉛筆デッサンで「松毬、葫、貝殻」を描き、トレースして線のみの表現に置き換える。		・鉛筆や墨による表現あるいは絵の具による表現の違いなどの表現の方法を意識しながら、自分なりの表現意図をもって制作を行う。	
		・「骨描き・隈取り」をする。 ・「自分の好きな言葉」を書き込む。 ・「落款」を作り、押印して完成。		・「骨描き・隈取り」の歴史的背景と表現方法 ・「落款」の作り方	
	7	・合評会「水墨による俳画」 作品を並べ、合評会を行う。		・合評会では自己の作品と他者の作品の相違点や良い点、足りない点などを意識しながら鑑賞する。	
		・デザイン「自画像イラスト」 自画像を鉛筆デッサンし、平面化してイラストレーションを作る。		・自画像を鉛筆デッサンで描く。	
	2	8		・レタリングで名前のロゴを作る。	
9		・アクリルガッシュを用いて着色し、自画像のイラストレーションを完成させる。			
	10	・立体構成「ボックスアート」 木の箱の中に様々なオブジェを配置し、組み合わせて3次元的な立体アートを作る。	2 学期	・ボックスアートの歴史や用具、用材等の知識。立体構成の表現技術等を学び、独自の空間構成を考え工夫する。	・ボックスアート素材 ・モチーフ ・参考作品 ・教科書 ・参考資料 ・彫刻粘土
	11	①ワークシートを使って構想を練り、下絵を決定する。		・空間構成の考え方、捉え方。ワークシートに鉛筆でエスキースを描く。	
		②下絵が決定したら、箱の中、外側に描画する。		・組み立てる前にまず箱の中に自分の表現意図に沿った絵を描く。	
	12				
	1	③箱の中に背景となる絵を描いた後に箱を組み立て、接着する。	3 学期	・箱の中の背景や情景を先に描いておく。中に入れるオブジェの形や配置等を考えながら制作する。	・箱 ・アクリルガッシュ ・ボンド ・参考作品 ・針金 ・木材等 ・ビーズ等
	2	④彫刻粘土でオブジェを作り、箱の中に配置する。		・粘土による立体制作。粘土の可塑性を利用して意図に沿ったオブジェ作りを行う。	
	3	⑤様々な素材を利用し、作品作りを行う。		・針金や木材、ビーズ等、材料や素材を工夫して自分の表現意図に応じた作品作りを目指す。	
		・合評会「ボックスアートおよび1年間の反省」 ・作品を並べ、ボックスアートと1年間のまとめと合評会を行う。		・相互評価を行いながら、自分の制作について振り返る。	